

県美プレミアム

2015年11.21^土 – 2016年3.6^日

《館外作品を中心とした小企画展》

奇想の版画家 谷中安規展
蔵出し！M氏コレクション

展示室 1

展示室 2



1. 谷中安規《若き文殊と友達》1940年頃 M氏コレクション

《収蔵品によるテーマ展》

ハンガ・オンパレード
版画大行進！

展示室 3

展示室 4



2. 織田一磨《大阪風景 道頓堀》1917年

展示室 5 近現代の彫刻 / 安藤忠雄「震災復興プロジェクト」

小磯良平記念室

金山平三記念室

展示室 6 近代絵画名品選



開催趣旨

当館は、前身である兵庫県立近代美術館の開館以来、版画を収集の柱としてきました。今期の県美プレミアムでは、小企画「奇想の版画家 谷中安規展 蔵出し!M氏コレクション」と特集展示「版画大行進! (ハンガ・オンパレード)」という版画を中心としたふたつの展示がメインとなります。

小企画「奇想の版画家 谷中安規展 蔵出し!M氏コレクション」は、1930～40年代に活躍した木版画家・谷中安規の独自の幻想世界を館藏品と外部からの借用作品によって紹介します。

また、特集展示「版画大行進! (ハンガ・オンパレード)」では、谷中と同時代や前後の時代に活動した日本の版画家たちの作品を中心に、4,500点にのぼる当館の版画コレクションのハイライトをご覧ください。

県美プレミアム

兵庫県立美術館は、前身の近代美術館時代から数えて約45年にわたり収集活動を続けてきました。現在9,000点を超える作品を収蔵しており、それらはこれまでの収集方針を反映して、国内外の近代彫刻と版画、日本近代の名作、兵庫ゆかりの作品、関西の現代美術に大別されるとしても、内容は実に多岐にわたり、一瞥しただけではその総体をとらえきれません。そこで、当館では、1年を3期に区切り、個々に展示のテーマを設けることによって、横断的にコレクションを紹介し、変化ある常設展示室の演出を心がけています。

開催情報

会期

2015年11月21日(土)～2016年3月6日(日)

休館日：毎週月曜日

(ただし11月23日と1月11日は開館)

11月24日(火)、12月31日(木)、

1月1日(金)、1月12日(火)

開館時間：午前10時～午後6時

特別展開催中の金・土曜日は夜間開館

(午後8時まで)

*入場は閉館の30分前まで

会場：兵庫県立美術館 常設展示室(1階・2階)

観覧料

団体料金……20名以上の料金

セット料金……特別展とのセット割引料金

*65歳以上は一般料金の半額

*障がいのある方とその介護の方1名は半額

*「文化の日」を中心とする11月3日(火)～5日(木)は無料

*11月21日(土)・22日(日)は「関西文化の日」につき無料

| 観覧料 | 当日 | 団体 | セット |
|-----|------|------|------|
| 一般 | 510円 | 410円 | 306円 |
| 大学生 | 410円 | 330円 | 246円 |
| 高校生 | 260円 | 210円 | 156円 |
| 中学生 | 無料 | | |

展覧会内容

展示室 1

《館外作品を中心とした小企画展》

奇想の版画家 谷中安規展

展示室 2

蔵出し！M氏コレクション

昭和初期、戦中から戦後にかけての激動の時代、独自の幻想的ヴィジョンを木版に刻み続けた版画家・谷中安規（1897-1946）。明治末期から昭和初期にかけて隆盛し、多くの個性的な版画家を輩出した創作版画運動にあって、とりわけ異彩を放つ作家のひとりです。

本展では、当館の収蔵品のみならず、京都国立近代美術館の収蔵品、長年に渡って谷中の研究と収集に情熱を燃やし続けたM氏の珠玉のコレクションを合わせた計約 170 点の作品と資料を一堂に展示します。『白と黒』や『版藝術』といった創作版画誌で発表した作品から、内田百閒や佐藤春夫の著書など様々な書籍に提供した挿絵や装丁の仕事まで、比類なき谷中の版画世界を主題と技法・材質の両面から概観します。



3. 谷中安規《女の顔 (星神)》1931年頃



4. 谷中安規《魂胆》1932年頃



5. 谷中安規《少年礼讃》1937～39年頃 M氏コレクション

展示室 3

《収蔵品によるテーマ展》

ハンガ・オンパレード

版画大行進！ (日本編)

展示室 3 では、小企画「谷中安規展」に関連し、当館が誇るコレクションのなかから日本の版画の名品を精選して展示します。

名所絵の伝統を受け継ぐ最後の浮世絵師・小林清親から、自画石版による風景画で知られる織田一磨、浮世絵復興の「新版画」を代表する川瀬巴水、谷中安規と並ぶ「創作版画」の代表的作家である前川千帆や川西英、戦後版画の旗手と呼ぶべき浜田知明、駒井哲郎、池田満寿夫、今日を代表する木口木版画家である柄澤齊にいたるまで、約 20 人の作家による傑作によって明治から昭和にかけての版画の流れをたどります。



6. 前川千帆《花売（大顔）》1951年

展示室 4

《収蔵品によるテーマ展》

ハンガ・オンパレード

版画大行進！ (海外編)

続く展示室 4 では、西洋の版画作品の傑作を展示します。

ルネサンス以降今日にいたるまで長い版画の伝統を有す西洋では、銅版画、木版画、石版画など様々な技法を発展させてきました。特に近代には、絵画の複製や書籍の挿絵といった従来の役割を超えた、芸術としての自立性を持つ作品が数多く生み出されました。今回の展示では、ゴヤ、ルドン、クリンガー、アンソール、コルヴィッツ、ルオー、エルンスト、デュビュッフエ、ヘイター、ジャスパー・ジョーンズという近代の版画史に大きな足跡を残した 10 人の巨匠たちの傑作をピックアップし、西洋版画の豊穡な世界の一端を紹介します。



7. ジェームズ・アンソール《人間の群れを狩り出す死》1896年



8. ケーテ・コルヴィッツ《犠牲（木版連作「戦争」より）》1922年

展示室 5 近現代の彫刻 / 安藤忠雄「震災復興プロジェクト」

当館は、版画とともに彫刻を収集の柱のひとつに据えてきました。展示室 5 では、ロダンに始まる近代から現代にかけての彫刻の名作を紹介します。

また、当館の設計者である建築家・安藤忠雄の業績の一部を模型、写真、映像などで紹介するコーナーを展示室東側に併設します。

小磯良平記念室

神戸生まれの小磯良平（1903-1988）は、近代洋画を代表する巨匠のひとりです。確かなデッサン力に裏打ちされた人物像は、現在も私たちに魅了します。小磯の代表作を展示する記念室では、小磯がどのように画面を構成し、理想的な空間を描こうと試みたのか、当館が所蔵する代表作《斉唱》などの人物像を中心に紹介します。

小磯良平の作品画像を使用される場合には、別途、著作権処理が必要となります。詳細はお問い合わせください。



小磯良平《腰かける婦人》1938年

金山平三記念室

神戸に生まれた金山平三（1883-1964）は日本各地を旅行して描いた風景画で知られています。旅先に逗留し、自らの描きたい風景を追求して描きました。今回の展示では、代表作《大石田の最上川》など、金山が好んで描いた冬の風景画をテーマとしてご観いただけます。



9. 金山平三《大石田の最上川》1948年頃

展示室 6 近代絵画名品選

展示室 1・2 でご覧いただいたように、谷中安規は様々な幻視的イメージを繰り出す一方、既知のモチーフを用いながら初めて見るような異物感に満ちた世界をつくりあげました。ここでは、谷中のイメージやモチーフを念頭に選出した作品を展示します。

いくつかの作品は、谷中と同じ時代の空気を吸うことで生み出され、またいくつかの作品は、人間の内奥にうごめくものを時代を超えた共通の基盤として生み出されました。これらの作品を、「聖と俗の女性のすがた」「都市の姿と不思議な光景」「こども・動物・神様・仏様」「うごめくものたち」のキーワードをもとに展示します。



10. 本多錦吉郎《羽衣天女》1890年



11. 飯田操朗《風景》1932年

お問い合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
TEL: 078-262-0901 (代表) FAX: 078-262-0903

取材・写真提供に関すること

営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905 (グループ直通) FAX: 078-262-0903

展示内容に関すること

担当学芸員：岡本弘毅・横田直子・西田桐子

e-mail: okamoto@artm.pref.hyogo.jp (岡本)

TEL: 078-262-0909 (学芸直通) FAX: 078-262-0913

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

小磯良平の作品画像を使用される場合には、別途、著作権処理が必要となります。詳細はお問い合わせください。

関連イベント

学芸員によるレクチャー

「もっと近くへいらっしゃ〜い 版画最接近鑑賞会」

講師：当館学芸員

日時：1月24日（日）午後2：00～午後3：30

場所：アトリエ2

参加無料・定員30名

こどものイベント

① 「アートな凧をつくってあげよう！」

日時：12月19日（土）午前10：30～午後3：30

② 「彫ってみよう！摺ってみよう！木版画教室」

日時：2月27日（土）午前10：30～午後3：30

①②いずれも、

場所：アトリエ2

*要申込・要実費・定員30名

学芸員によるギャラリートーク

日時：11月21日（土）、1月23日（土）、2月20日（土）

いずれも午後3：00～午後3：45

場所：1階常設展示室

*要観覧券（11月21日（土）は不要）・定員なし

ミュージアムボランティアによるガイドツアー

日時：会期中の金・土・日 午後1：00～午後1：45

集合場所：1階エントランス

*要観覧券（11月21日（土）・22日（日）は不要）・定員なし

同時開催の展覧会

チャンネル6「国谷隆志 Deep Projection」

10月29日（木）～11月29日（日）

共催展「王懐慶 山を出て」

12月4日（金）～2016年1月11日（月・祝）

特別展「生誕180年記念 富岡鉄斎 近代への架け橋」

2016年3月12日（土）～5月8日（日）

横尾忠則現代美術館での同時開催*

横尾忠則 続・Y字路

8月8日（土）～11月23日（月・祝）

横尾忠則「幻花」原画展

12月12日（土）～2016年3月27日（日）

*特別展又は県美プレミアムのチケット（半券可）のご提示で、
団体割引料金でご覧いただけます。

（詳細はホームページなどでご覧ください）

交通案内

阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分

JR神戸線難波駅から南に徒歩約10分

阪急神戸線王子公園駅から南西に徒歩約20分

神戸市バス・阪神バス「県立美術館前」下車すぐ

地下駐車場：乗用車80台収容・有料

*ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください

*団体バスでお越しの場合は、バス待機所の予約をお願いします



県美プレミアム

《小企画》 奇想の版画家 谷中安規展 蔵出し！M氏コレクション
《特集》 版画大行進！（ハンガ・オンパレード）

兵庫県立美術館

2015年11月21日（土）～2016年3月6日（日）

広報画像申込書

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 電話 (078) 262-0905 (直通)

ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データ (.jpg) をお送りいたします。

| 番号 | 作家名・作品名・制作年 など |
|----|---------------------------------|
| 1 | 谷中安規《若き文殊と友達》1940年頃 M氏コレクション |
| 2 | 織田一磨《大阪風景 道頓堀》1917年 |
| 3 | 谷中安規《女の顔（星神）》1931年頃 |
| 4 | 谷中安規《魂胆》1932年頃 |
| 5 | 谷中安規《少年礼讃》1937～39年頃 M氏コレクション |
| 6 | 前川千帆《花売（大顔）》1951年 |
| 7 | ジェームズ・アンソール《人間の群れを狩り出す死》1896年 |
| 8 | ケーテ・コルヴィッツ《犠牲（木版連作「戦争」より）》1922年 |
| 9 | 金山平三《大石田の最上川》1948年頃 |
| 10 | 本多錦吉郎《羽衣天女》1890年 |
| 11 | 飯田操朗《風景》1932年 |

※小磯良平の作品画像を使用される場合には、別途、著作権処理が必要となります。詳細はお問い合わせください。

※上記画像を媒体掲載される際には、記載の作家名・作品名・制作年などを必ず入れてください。

※作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。

※画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。（会期終了まで）

※再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。

※Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードを施してください。

※基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で営業・広報グループまでお送り願います。

| | | | |
|---|----------------------------------|---------|------|
| 貴社名 | | | |
| 媒体名 | 新聞・雑誌・ミニコミ 『 』 TV・ラジオ・インターネット | | |
| ご担当者名 | | | |
| ご住所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | FAX | |
| メールアドレス | @ | | |
| URL | | | |
| 掲載・放送予定日 | | 画像到着希望日 | |
| 読者・視聴者プレゼント用招待券（最大5組10名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです） | | 組 | 名分希望 |

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体（VTR/DVD）、URLなどを、上記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。

※展覧会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。